

令和6年度 林分条件調査表

森林管理署	下北森林管理署
物件番号	1
物件名	森林環境保全整備事業(大平滝国有林Ⅱ)

林小班	保安林種別等	主要樹種	林齢	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐採率 %	平均胸高直径 cm	立木資材量			生産量			予定作業量											最寄り市町村からの距離 km	備考											
									本数	材積 m³	m³/本	N m³	L m³	計 m³	伐倒		集・造材		小運搬巻立			森林作業道作設		林地保全				土場作設等 h	砂利数量 m³	薬剤散布(スハイソ) ℓ	鉄板規格*枚数							
															方法	数量 m³	方式	数量 m³	フナワーダ片運搬距離 m	数量 m³	ゲラブル付きトラック片運搬距離 m	数量 m³	林地傾斜 緩・中・急	延長 m	2種編組 m							緑化 m²						
53I2	水涵保	スギ	65	保護伐	皆伐	1.08	100	24	1,023	552	0.54	429	12	441	全木	552	プロセッサ	441	315	441	1,300	441	緩											東通役場	6.6	R6年度実施(皆伐・地拵) R7年度実施(補付)		
53I3	水涵保	スギ	62	保護伐	皆伐	1.68	100	30	1,467	1,376	0.94	1,100	1	1,101	全木	1,376	プロセッサ	1,101	111	1,101	2,600	1,101	中											東通役場	7.9	R6年度実施(皆伐・地拵) R7年度実施(補付)		
53I4	水涵保	スギ	60	保護伐	皆伐	2.11	100	28	2,226	1,753	0.79	1,400	3	1,403	全木	1,753	プロセッサ	1,403	192	1,403	2,600	1,403	緩											東通役場	7.9	R6年度実施(皆伐・地拵) R7年度実施(補付)		
53I1	水涵保	スギ	65	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	27.52	33	24	9,401	3,849	0.41	1,834	65	1,899	全木	3,849	プロセッサ	1,899	433	1,899				緩											東通役場	6.3	R7年度実施	
53ろ1	水涵保	スギ	44	保護伐	列状間伐(1伐3残)	0.70	25	20	297	77	0.26	39	0	39	全木	77	プロセッサ	39	187	39	2,400	39	中												東通役場	7.7	R7年度実施	
53ろ2	水涵保	スギ	44	保護伐	列状間伐(1伐3残)	8.96	25	20	3,779	983	0.26	494	5	499	全木	983	プロセッサ	499	268	499	2,600	499	緩												東通役場	7.9	R7年度実施	
53ろ3	水涵保	スギ	44	保護伐	列状間伐(1伐3残)	1.16	25	20	492	127	0.26	65	1	66	全木	127	プロセッサ	66	95	66	2,600	66	緩												東通役場	7.9	R7年度実施	
53ろ4	水涵保	スギ	47	保護伐	列状間伐(1伐3残)	4.57	25	18	1,713	433	0.25	197	2	199	全木	433	プロセッサ	199	221	199	2,800	199	緩												東通役場	8.1	R7年度実施	
53ろ5	水涵保	スギ	46	保護伐	列状間伐(1伐3残)	3.16	25	20	1,333	347	0.26	175	2	177	全木	347	プロセッサ	177	194	177	2,800	177	緩												東通役場	8.1	R7年度実施	
53ろ6	水涵保	スギ	46	保護伐	列状間伐(1伐3残)	2.69	25	20	1,137	295	0.26	149	1	150	全木	295	プロセッサ	150	202	150	2,800	150	緩													東通役場	8.1	R7年度実施
53ろ7	水涵保	アカマツ	47	保護伐	列状間伐(1伐2残)	2.37	33	20	819	220	0.27	102	3	105	全木	220	プロセッサ	105	151	105	2,600	105	緩													東通役場	7.9	R7年度実施
53ろ8	水涵保	アカマツ	46	保護伐	列状間伐(1伐2残)	2.55	33	20	882	237	0.27	110	3	113	全木	237	プロセッサ	113	127	113	2,600	113	緩													東通役場	7.9	R7年度実施
53ろ9	水涵保	トドマツ	47	保護伐	列状間伐(1伐2残)	2.00	33	18	1,001	234	0.23	106	2	108	全木	234	プロセッサ	108	101	108	2,600	108	緩													東通役場	7.9	R7年度実施
54I1	水涵保	スギ	53	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	22.70	25	22	6,737	2,787	0.41	1,551	9	1,560	全木	2,787	プロセッサ	1,560	729	1,560				中											東通役場	6.3	R6年度実施	
54I3	水涵保	スギ	49	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.82	25	22	1,250	428	0.34	222	3	225	全木	428	プロセッサ	225	221	225				中											東通役場	6.3	R6年度実施	
54I3	水涵保	スギ	48	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	2.29	25	22	950	428	0.45	226	0	226	全木	428	プロセッサ	226	230	226				緩												東通役場	6.5	R6年度実施
合計						88.36			34,507	14,125	0.41	8,199	112	8,311		14,125		8,311		8,311		4,401					BH0.45 300 WL1.3 1.4 500	C-0°80 500	1年目:3600 2年目:3600	6m×40枚 (360日間)								

1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。
2 面積は伐採面積とする。
3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。
緩:0°～20°、中:20°～30°、急:30°以上
4 最寄りの市町村役場(支所含む)からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。
5 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編組および沢については、作業計画図に図示する。
6 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。

1号物件

林小班	森林作業道延長距離	
53い2外15	概ね	11,845 m

別紙

検知業務請負作業内訳書

素材検知業務請負(大平滝国有林Ⅱ)

単位:m³

物件番号	材種	作業工程	予定数量	備考
第1号	素材	(1)の業務	3,990	
		(2)の業務	1,828	
		(5)の業務	2,493	
		合計	8,311	

検知業務請負(作業内容)

- (1)の業務 素材の長級・径級を測定、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (2)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (3)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、トラック運材の積み込み本数を確認し送状に記載・交付する作業、及び最終貯木土場において指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (4)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、材積計算を行い、送状(概算引渡物件明細書)を交付し、スプレーの塗布を行う作業。
- (5)の業務 低質材及び低評価一般材の層積検知(縦、横、高さを測る)を行い指定野帳に記載し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。

